湘南フォーラム絆

人口減少時代の中で「さらに輝くまち」を目指して

山原　栄一　議員

人口変化を予測し事業ごとに将来計画を

問　人口構造の変化に対する考えを伺う。

市長　人口減少に対しては緩和させる視点と適応していく視点の双方を意識して施策を立案するとともに、複数の分野の取り組みを戦略的・横断的に推進するなどの必要があると考える。

問　人口の変化に対し、美術館のように現状維持で進むもの、また学校のように規模を縮小していくものがある。公共施設について個別に将来計画を示すべきと考えるが、見解を伺う。

企画政策部長　直ちに示すのは難しいが、5年あるいは10年という期間の中で検討していくべきと考える。

美術館大規模改修総工事費約52億円

問　34年前に開館した美術館の建設費用を伺う。

社会教育部長　建物、外構などを含め、45億円程度である。

問　将来人口が20万人を切る中で、市民の貴重な税金を投入することに対し、市としてどのように経営していくのか、見解を伺う。

副市長　50億円を超える規模の改修を行うかの議論は当然あり、迷うところもあったが、これまで築いてきた財産を失うことはしてはならないという判断に至った。次の世代にしっかりつなげていく思いで、改修事業を判断した。

神奈川大学湘南ひらつかキャンパス跡地

問　市長から県知事に今後の本市西部のまちづくりについて、力強い支援や協力をもらえるよう伝えて欲しいが、いかがか。

市長　機会があれば県知事に、今後の本市西部のまちづくりをしっかり理解してもらうよう、申し入れをしたいと考えている。

市立小・中学校適正規模等基本方針から

問　将来的に、望ましい学級数を下回る学校が増えてくると見込まれるが、どのように計画を具体化させていくのか伺う。

教育長　児童生徒数の推計や学校施設の老朽化などの状況を踏まえて、対象校を選定し、地域との関わり方などを総合的に勘案して検討していく。

増加する不登校の児童生徒の孤立を防ぐ

問　不登校の児童生徒の孤立を防ぐ対応策を伺う。

教育長　家庭・学校・専門機関が連携しながら、必要な支援が行き届くよう、不登校の児童生徒やその保護者が孤立しないように努めている。

平塚市の中学校部活動地域展開

問　部活動地域展開の今後の見通しを伺う。

教育長　学校を基本単位とした部活動だけでなく、複数の学校の生徒を対象とした部活動や、地域でのクラブ活動を支えてもらい、段階的に部活動の地域展開へつなげるよう、部活動の在り方研究協議会において検討を進めていく。

鈴川の河川流下断面不足改善の取り組み

問　金目川と鈴川合流部の改善の取り組みを伺う。

土木部長　河川管理者である県により、堤防整備に向けた検討を進めている。用地取得に向けた調整を進め、流水能力を確保できる工事の検討も進めていると聞いている。

▼このほかの質問　海辺の公園ひらつかシーテラス　市庁舎別館等機能見直し事業　駅西口駐輪場を平塚駅周辺将来構想へ　学校周辺及び通学路の安全対策　道路整備計画の状況と見通し

超高齢社会への対応、公共施設の整備や安心・安全を問う

出村　光　議員

問　超高齢社会の全体像と取り組みを伺う。

福祉部長　本市の高齢化率は10年前の25・1％から2025年には29・0％に増加した。医療や介護の増加が見込まれ、高齢者が地域で安心して暮らせる環境整備が必要であり、さまざまな事業を通じて地域包括ケアシステムの更なる深化、推進に取り組んでいる。

問　独居老人の安否確認と特殊詐欺対策を伺う。

福祉部長　ひとり暮らし高齢者調査や、各地区の民生委員児童委員や社会福祉協議会による見守り体制を築いている。特殊詐欺などへの対策は、平塚警察署員による出張型の啓発事業を行うなど、詐欺被害の未然防止に努めている。

問　介護離職をしないための支援を伺う。

福祉部長　さまざまなサービスや制度を活用することが必要である。高齢者よろず相談センターが窓口となり、支援を行っている。

公共施設の整備準備

問　財源対策について将来的な見通しを伺う。

副市長　公共施設整備保全基金の活用や市債の借り入れなど、将来世代への負担に配慮した財源確保を講じる。

安心・安全なまちへ

問　防犯カメラの設置状況を伺う。

防災・危機管理監　平塚駅周辺や、大型商業施設へ向かう公道などに防犯カメラ10台を設置し、自治会などへは補助金制度を設け、設置を支援している。

小中学校のトイレ

問　洋式化の進捗と温水洗浄便座設置について伺う。

教育総務部長　全校完了は令和11年度を予定している。温水洗浄便座は、バリアフリートイレや職員用トイレへ順次整備している。

安心・安全な平塚を目指して

臼井　照人　議員

拉致問題の啓発は

問　毎年12月10日から16日は、国が定める北朝鮮人権侵害問題啓発週間だが、本市の啓発活動を伺う。

市民部長　市庁舎本館のほか、駅前広場の地下道広告板に啓発ポスターを掲示し、啓発週間の告知記事を通年掲載している。また、平塚競輪場の電光掲示板に啓発画像を表示し、7月にはパネル展を中央図書館で開催するなど、今後も幅広い世代に向けた啓発活動の強化に取り組んでいく。

問　教育現場での啓発について伺う。

学校教育部長　人権教育の一環として、道徳科や社会科で扱っている。教員については、新任教頭を対象とした教頭研究会や、人権教育担当者会で扱っている。

教員のハラスメント

問　教員による児童生徒へのハラスメントは、どのようなものがあるのか伺う。

教育長　殴る、蹴る、長時間正座をさせるほか、児童生徒の人格を否定するような暴言や威圧的な態度による指導、無視や嫌がらせなど児童生徒を深く傷つける行為が挙げられる。

問　児童生徒や保護者からの相談に対する事実確認の方法や、再発防止、教員への指導はどのように行っているのか伺う。

教育長　毎年アンケート調査を実施しているほか、日頃から相談を受け付け、実態把握に努めている。相談などがあった際には、学校長が当該教員に聞き取りを行い、事実確認後に市教育委員会で精査し、県教育委員会へ報告する。体罰や不適切指導を行った教員には、学校長や市教育委員会が指導し、再発防止を徹底している。

問　通報した保護者へ結果を報告しているのか伺う。

学校教育部長　処分に関して全ては伝えていない。

動物福祉の向上を

問　今年度から始まった本市と民間の動物愛護団体との協働事業について伺う。

環境部長　ペットの適正な飼育を促進するため、ペットを守る情報カードや情報シートを作成し、福祉関係団体などへ周知を含め配布している。

問　経緯を伺う。

環境部長　飼育が適正にできない人は何らかの課題を抱えており、ペットを守るためには飼い主へのアプローチが必要である。このことから、協働事業が提案された。

過去に発行した議会だより

市議会ホームページでは、これまで発行したひらつか議会だよりをご覧いただけます。

声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。

問い合わせ
議会局　☎21-8791

湘南フォーラム絆　所属議員

久保田　聡　議員

府川　正明　議員